



2026 年 9 月 18 日

各 位

会 社 名 株式会社アイ・アールジャパンホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長・CEO 寺 下 史 郎
(コード番号：6035、東証スタンダード)
問 合 せ 先 常務取締役経営企画部長 藤 原 豊
(TEL. 03-3519-6750)

2027 年 3 月期第 2 四半期(中間期)連結業績予想及び中間配当予想に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2026 年 5 月 15 日の公表においては未定としておりましたが、2027 年 3 月期第 2 四半期(中間期)連結業績予想及び中間配当予想につきまして、以下のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想について

(1) 2027 年 3 月期第 2 四半期(中間期)連結業績予想 (2026 年 4 月 1 日～2026 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回発表予想 (B)	3,380	910	919	536	30.17
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前第 2 四半期(中間期) 実績 (2026 年 3 月期第 2 四半期)	3,083	631	637	443	24.98

(2) 公表の理由

当社は、2026 年 5 月 15 日の公表において、合理的な業績予想の算定が困難であることから、2027 年 3 月期第 2 四半期(中間期)連結業績予想を公表しておりませんでした。今般 2027 年 3 月期第 2 四半期(中間期)連結業績予想についてその見通しを得ましたので開示いたします。

2027 年 3 月期第 2 四半期(中間期)連結業績予想について、売上高につきましては、前年同期比 9.6%増加の 3,380 百万円、営業利益は、同 44.2%増加の 910 百万円となる見込みです。

一方、親会社株主に帰属する中間純利益は、証券代行業務の業務提携解消に関連するすべての固定資産の減損損失 111 百万円を織り込んだ結果、前年同期比 20.8%増の 536 百万円となる見込みです。

2027 年 3 月期の通期連結業績予想につきましては、当社グループの業務特性上、現時点で合理的な業績予想の算定が困難であることから、公表しておりません。今後、通期連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 配当予想について

(1) 配当予想の内容

	1 株当たりの配当金		
基準日	第 2 四半期末	期末	年間
前回予想	未定	未定	未定
今回発表予想	16.00 円	未定	未定
当期実績	—	—	—
前期実績	13.00 円	15.00 円	28.00 円

(2) 公表の理由

当社は、2026 年 5 月 15 日の公表において 2027 年 3 月期の配当予想を未定としておりましたが、今般 2027 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想について見通しを得ましたので中間配当予想について開示いたします。

当第 2 四半期連結累計期間の業績動向および連結配当性向 50%を目途とする方針を踏まえて、本日開催の取締役会において、2027 年 3 月期の中間配当は 1 株につき 16 円とする方針を決議いたしました。

期末配当につきましては、現段階においては通期の連結業績予想を見積もることが困難なことから、現時点では未定としております。なお、2027 年 3 月期の配当は、連結配当性向 50%を目処としつつ、株式会社アイ・アールジャパンホールディングスの配当原資と、子会社である株式会社アイ・アールジャパン（以下、IRJ とする）が第一種金融商品取引業者であることから、IRJ の自己資本を安定的な水準に維持する必要性を勘案しながら、総合的に決定してまいります。

以 上